

質 問 書

2020年9月9日

南米地域「質の高いインフラ原則」を踏まえた都市モビリティ改善に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式))
(公示日:2020年8月26日/調達管理番号:20a00411)について、以下のとおり質問します。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P18 2 業務の実施方針等 P20 2) 業務実施の基本方針	頁数が一致しておりませんので、正しい頁数についてご教示ください。	p.20 「2) 業務実施の基本方針」については、下記の「(質問)通番号2」のとおり修正いたします。 頁数については、p.18 「2 業務の実施方針等」に記載されている項目に従ってください。
2	P18 1. 技術提案書の構成 P20 3. 技術提案書作成上の留意点 P22~23 評価表	通番号1とも関連しますが、P18、P22~23 と P20 記載内容が整合しておりません。 正しい技術提案書作成要領についてご教示いただけますでしょうか。	p.20 「(2)業務の実施方針等」について、以下のとおり修正いたします。 「第2章 特記仕様書案」について競争参加者が理解した内容や課題認識、業務の基本方針などについて記述して下さい。他の文献等の内容を引用した場合には、その出典・引用元を必ず明らかにして下さい。 1) 課題に関する現状認識 本業務にあたり、現時点で競争参加者が認識している以下の項目について整理の上、記述して下さい。 ➤ 中南米地域における都市交通分野(特に政策・制度等ガバナンス分野)の現状と課題

通番号	当該頁項目	質問	回答
			<p>2) 業務実施の基本方針</p> <p>①業務実施の基本方針</p> <p>②業務実施の方法</p> <p>本業務では現地への渡航を想定していないため、遠隔での情報収集等の方針等（オンラインによる面談、ローカルリソースの活用等）について、可能な限り具体的に記述してください。</p> <p>3) 作業計画／要員計画</p> <p>上記「2) 業務実施の基本方針」での提案内容に基づき、作業計画及び要員計画、業務従事予定者ごとの分担業務内容を記述して下さい。</p> <p>4) その他</p> <p>相手国政府又は機構（機構の現地事務所を含む。）からの便宜供与等に関し、業務を遂行するに当たり必要な事項があれば記載して下さい。</p>
<p>以上 8/28 回答</p>			
3	<p>第2章 特記仕様書</p> <p>5. 調査実施方針及び留意事項</p> <p>4)</p>	<p>「各国政府及び関連機関に対する提言」の中で、現地セミナーについて言及されていますが、これは実施方法のひとつのオプションとして示されたものであり、必須ではないという理解で良いでしょうか。現地セミナーを開催する場合、戦略系コンサルタントの備上費を含む現地セミナー開催費用は、見積もりに含める必要はありますか。なお、現時点では不確定要素が多いため、見積もりに含める場</p>	<p>「5. 調査実施方針及び留意事項 4) 各国政府及び関連機関に対する提言」に記載した通りですが、これに変わる代替案の提案（例えば、Webinarを通じたフォーラム開催など）は可能です。その場合、実施方法についてはより具体的かつ適切な提案を理由も付して技術提案書に記載して下さい。</p> <p>また費用について、「第4章 経費精算に係る留意事項 3. 定額で計上する経費」に以下の通り追記します。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
		<p>合は別見積とし、必要に応じて契約変更により対応頂けないでしょうか。</p>	<p>3. 定額で計上する経費 ・映像等デジタル・コンテンツの作成に係る国内再委託業務 800 千円 ・現地セミナー等開催費用 300 千円（一か国 100 千円程度）</p>
4	<p>第2章 特記仕様書 6. 調査の内容 (5)</p>	<p>プロGRESS・レポートは西文の報告書を含めて JICA へ提出することになっていますが、現地での説明は特に指示がありません。現地での説明は不要という理解で良いでしょうか。</p>	<p>「第2章 特記仕様書 6. 調査の内容 (5)」について以下の通り修正します。</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に基づき、プロGRESS・レポートを作成し JICA へ提出する。提出に際しては、JICA と十分協議を行い、フィードバックを反映する。また、作成したレポートを基に、各国政府に対し進捗を報告するとともに、以下(6)以降のプロセスについて更新された最新スケジュールと共に説明を行う。</p>
5	<p>第2章 特記仕様書 6. 調査の内容 (6)</p>	<p>各国の都市モビリティ分野開発への事業参画に高い関心を持つ本邦企業に対し、説明会の開催及びアンケート調査もしくはヒアリング調査を実施することになっています。この本邦企業は受注コンサルタントが対象技術を含めて選定するのでしょうか、それとも貴機構から企業リスト、技術の内容等について情報を共有いただけるのでしょうか。</p>	<p>基本的に受注コンサルタントが本邦企業への説明会／アンケート調査、もしくはヒアリング調査を通じ、各国に導入可能な製品・技術を選定し、ご報告いただくこととなります。ただし、機構において把握しご提供できる関連情報があれば、適宜共有させていただきます。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
6	第2章 特記仕様書 7. 報告書等（成果品）	インセプションレポート、プロGRESSレポート、ファイナルレポートの JICA で想定しているページ数をご教示ください。	特段想定しているページ数はございません。ただし、最終的に「第2章 特記仕様書 別紙」にて記載あるファイナル・レポート目次案（内容は協議に基づき確定）が網羅される報告書である必要があります。論理的かつ情報収集調査であるため、過去の実績やデータなどを可能な限り網羅したうえで論述されることが期待されていますが、利用の便を踏まえ、各国の論理構成や検討深度のバランスが著しく異なることのない記載とすることを求めます
7	第3章 技術提案書作成要領 2. 技術提案書作成に係る要件・留意事項 (2) 業務量の目途	予定案件情報では人月合計が約 15MMでしたが、入札説明書では半分の 7.5MMになっています。半減した理由を教えてください。	業務従事者の対象分野絞り込みによる精緻化の結果、半減したものです。

以上